

# みなしご通信



## 毛を剃らず縫合 トンデモ獣医

飼い主が特定されず屋外で暮らすしかない野良猫たちは暑さ寒さもままならない過酷な環境下で喰うや喰わずやの生活を送りながら一生懸命生きています。そんな野良猫たちに石を投げたり水をかけたりするクソなジジイや「あっち行け！」と追い払うクソなババアは世の中にたくさんいて、そくゆくクソたちと私たち動物愛護ボランティアは日夜戦っているわけですが私に言わせればこの手のクソたちは私と同じ下層界にいるだけまだマシなんですよ！

※コイツらは心も貧しい  
一番のクソは「動物のために」とか美辞麗句を言いながら実のところ動物のことなど1ミリも考えず儲けることしか考えてない一見優しそくな上層界にいる獣医たちです。私がいつも言っているスペイクリニツクのスキマ産業獣医は間違いなくご立派なクソ獣医ですが今日はそれじゃなく、看板立てて開業している獣医にも私はたいがいうんざりさせられとるよ、とゆく話です。うちには日本全国から終生飼養目的で猫が来るでしょ。その中にはもちろん負傷猫も多く含まれておりよくもまあこの程度の治療でお金を請求できたな？って思うクソな獣医はいっぱいいますよ！今日はそっちの話をしますね。

1月11日、まったく意味が分からん外科的処置(手術)を受けた負傷猫が来ました。依頼者の言うことにはその子のケガは「虐待を受けたかも」だそう。そして「動物病院で仮の縫合をしています」その際獣医からは「もしかしたら縫合部位がまた開くかも」と言われたとのこと。見える範囲で見ると※猫が緊張しているからあまり見れない：左の横つ腹から右の横つ腹までぐるり縫ってあるのでこんな広範囲を人間が切りつけることは不可能じゃ！針の先が当たっただけで気づいて飛んで逃げるのが猫。もちろん詳しく傷を見てみないと偉そうなことは言えんけど、私の経験ではおそらく車のエンジンルームに入り込んでしまいファンベルトでシュ！つと一気に広範囲が切れたのだと思います。

こくゆく子を今まで何匹も見てますし実際に私はこんな負傷具合の猫をエンジンルームから引つ張り出したことが何回かあります。もしかしたら縫合部位がまた開くかも：つてすでもう開いとるし！薄気味悪い腐敗臭もするし、そもそも仮の縫合とか聞いたこともないし。いずれにしても麻酔をかけたんなら去勢手術ぐらいやれよ！不親切にもほどがある！この時点で私は気に入らん！と思いましたが今さら私が吠えたつて未去勢には変わりないし、去勢手術の際の麻酔時に縫合部位も詳しく見てみよう！となりました。

え？術後何ヶ月も経過しているのならまだわかるけど数日前に縫ったばかりなのにすでに縫ったところに毛が入つとる？もしかして剃毛もせずに縫った？そんなことある？そんな獣医おる？クソ過ぎやせんか？縫合部位を避ける形で右横腹の開いているところあたりも恐る恐る剃毛しました。

え？術後何ヶ月も経過しているのならまだわかるけど数日前に縫ったばかりなのにすでに縫ったところに毛が入つとる？もしかして剃毛もせずに縫った？そんなことある？そんな獣医おる？クソ過ぎやせんか？縫合部位を避ける形で右横腹の開いているところあたりも恐る恐る剃毛しました。

え？術後何ヶ月も経過しているのならまだわかるけど数日前に縫ったばかりなのにすでに縫ったところに毛が入つとる？もしかして剃毛もせずに縫った？そんなことある？そんな獣医おる？クソ過ぎやせんか？縫合部位を避ける形で右横腹の開いているところあたりも恐る恐る剃毛しました。



間近で見ると完全に毛も一緒に縫い込まれています。毛も一緒に縫ったんじゃ！くつつくわけないじゃん！皮膚細胞と皮膚細胞の間に毛が入ってどくやったら細胞がくつつくんよ！くつつかんじゃろ！そんなことも考えられん獣医がこの世におらんじゃ！

一応再縫合手術は終わりました。細胞と細胞をくつつかせるために余計に皮膚を切り捨てるハメになったのでそれこそまた開く可能性が大いにありますが、もう再縫合するしか手がないし私の責任において再縫合の決断をしたのです。あとはひたすら祈る。凡夫ができることはこれに尽きます。ひたすら祈る！

毛を剃らないで縫う獣医がいることを私は初めて知りました。この子のケガは虐待でもなんでもなく冬場によく起きるエンジンルーム内での負傷だと思いが、私に言わせればこれは毛も剃らないで手術した獣医による虐待事件じゃ！

# 野菜を大切に



鹿は青々と茂った葉だけでなく茶色くカスカスになつた枯れ葉も喜んで食べますし、モルモットも青々とした大根葉だけでなく黄色く変色した大根葉も食べます。その姿を見てみると人間は毒があるわけでもないのに硬い！とか美味しくない！とかアホみたいな理由で野菜類を無駄にしてるな〜と思うのです。モルモットたちに黄色くなった部分もある1本分の大根葉を渡すと、黄色くなった葉の方を先に探してまずそちらを好んで食べます。もしかしたら大根葉は黄色くなると別の栄養

養素が含まれるのかな？

いづれにしても動物たちは今日生きるために必要な食べものを必要な分だけ食べてます。私はどうじゃろ？生きるために必要な食べ物、生きるために必要な量の、そんなことを考えて食べとるかな？いやそのときの気分で食べものを選んで食べたいだけ自由に食べとる。全然ダメじゃん残念すぎるよ中谷さん。モルモットの方が私よりだいぶ賢いね。

## 熊猪猿&中谷

私は《夜は》神経を休ませたいのでスマホを遠くに置いてるのですが最近カツ部屋を映している《カメラの映像》を録画したくて連動している旧スマホで見ながら新スマホでそれを撮影するみたいな変なクセがついてしまい、やめなきやと思いつつもついつい見してしまうのです。カメラ映像はオモロい！写真は大晦日の夜の様子です。私以外はみんな寝てます。左上イノシシ《カンジ》カンジの成



長に合わせて大きいケージを作ったのに「絶対に入らん！」と部屋が壊れるぐらい大声でブーブー騒いで結局うり坊時代からのケージで縮こまって寝ています。右上ニホンザル《ひろし》昨年6月ごろからオス猿特有の群れから出て行くための《親離れ期》に入り母親である私と一緒に寝ることを拒否するようになって一人で寝ています。※私は今でもかなり寂しい：右下ツキノワグマ《カツ》カツも今ちようど《親離れ期》で母親である私はカツからよく怒られカツがおとなになつて力強くなったことを見せつけられています。お母さん

## 年始のご挨拶

大好きUPA（鹿）にもカンジにも同じように《親離れ期》があつてそのたびに母親である私は寂しい思いをしてきましたが言うてもうちの子たちは去勢手術をしている《飼い野生動物》なのでこの親離れ期を過ぎたらまた普通に甘える子に戻るんですがね♪

皆さま本年もどうぞよろしくお願ひいたします。普通は片付けてから写真を撮るけど、私は普通じゃないのでそのまま撮る（笑）



本紙は中谷百里代表ブログ「みなしご庵へようこそ」の記事を抜粋したものです。

NPO法人（特定非営利活動法人）  
**犬猫みなしご救援隊**  
www.minashigo.jp

犬猫みなしご救援隊  
〒731-0234  
広島県広島市安佐北区可部町大字今井田690-2  
TEL : 082-812-3745 FAX : 082-815-2711

**YAHOO! JAPAN** ネット募金

**つながる募金**  
▲ネットやスマホで当団体に募金できます

みなしご通信のバックナンバーは、公式ページに掲載しております。「みなしご通信」で検索してみてください。